第15講・世界恐慌と世界の動き

恐慌（きょうこう）の連続と満州（まんしゅう）事変，軍部の台頭

ポイント1　経済の行きづまり

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 度重なる災害と恐慌

資料1 関東大震災

1920年　戦後恐慌

1923年　**関東大震災（しんさい）（震災恐慌）**

1927年　金融（きんゆう）恐慌

1930年　**昭和（しょうわ）恐慌**：前年の世界恐慌の影響

労働争議（そうぎ）・小作（こさく）争議が増加

1931年に農村で大凶作，東北・北海道できさん

↓

政治を主導する政党と経済を支配する財閥（ざいばつ）への批判が強まる

② 軍縮と軍部の反発

1930年　ロンドン海軍軍縮条約（補助艦の制限など）

↓

軍縮の内容で立憲民政党の内閣と軍部・立憲政友会などが対立

浜口雄幸（はまぐちおさち）首相（しゅしょう）が東京駅で狙撃（そげき）されて重傷を負い，辞任する

ポイント2　満州事変

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 満州での争い

中国では蔣介石（しょうかいせき／チャンチェシー）の国民政府（首都・南京（ナンキン））を中心に

日本に奪われた権益を回復しようとする主張が強まる

↓

1931 年　関東軍が **柳条湖事件**（りゅうじょうこ／リウティアオフー） を起こし，
└ 関東軍が柳条湖で南満州鉄道の線路を爆破した事件

これを中国の仕業として満州を占領（ **満州事変** ）

1932年　関東軍は **満州国** を建国

清（しん）の最後の皇帝（こうてい）・溥儀（ふぎ／プイ）を元首とするが，日本が実権をにぎる

② 世界からの日本の孤立

資料2 リットン調査団

国際連盟がリットン調査団を派遣

調査の結果，満州国を認めず，占領地からの日本軍の撤兵（てっぺい）を求める

↓

1933年　日本は反発して国際連盟を脱退

ワシントン・ロンドン海軍軍縮条約ものちに破棄し，世界から孤立（こりつ）を深める

ポイント3 軍部の台頭

＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

1932年　**五・一五事件**（ご・いちご）

内容：海軍の青年将校らが満州国承認を渋る立憲政友会の **犬養毅**（いぬかいつよし） 首相を暗殺

↓

8年にわたる政党政治の時代（憲政の常道）が終わる

1936年　**二・二六事件**（に・にろく）

内容：陸軍の青年将校が大臣などを殺傷し，四日間にわたり東京の中心部を占拠

↓

陸軍の政治的な発言力が強まる

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 世界恐慌の影響を受けて1930年に起こった日本の深刻な不況を何というか。 ＿＿＿＿＿ **昭和恐慌**

(2) 1931年に起きた満州事変のきっかけとなった南満州鉄道の線路爆破事件を何というか。 ＿＿＿＿＿ **柳条湖事件**

(3) 清朝最後の皇帝で満州国の元首になった人物は誰か。 ＿＿＿＿＿ **溥儀**

(4) 1932年，五・一五事件で海軍の青年将校らに暗殺された首相は誰か。 ＿＿＿＿＿ **犬養毅**

(5) 1936年に陸軍の青年将校が大臣などを暗殺し，四日間にわたり東京の中心部を占拠した事件を何というか。 ＿＿＿＿＿ **二・二六事件**